

季刊  
No.179

季刊  
No.179

ばに... お笑いタレント・漫画家・カラテカ 矢部 太郎さん

— 昨年に「出演されたNHK大河ドラマ『光る君へ』について、なか印象的なエピソードがありましたか教えてください。 —

矢部 ぼくは主役であるまひろさん（吉高由里子さん）の従者・乙丸役として出演したので、実をいいますと乙丸は、まひろさんが宮中に入るくらいで出番を終える予定だったんです。ところが徐々に伸びていって、最終的に第1回から最後までずっと出演させていただくことができました。

乙丸は歴史上の人物ではなくドラマ用のオリジナルキャラクターでしたから、そういったことも可能だったのかもしれないですね。乙丸は、まひろさん（吉高由里子さん）の従者・乙丸役として出演したので、実をいいますと乙丸は、まひろさんが宮中に入るくらいで出番を終える予定だったんです。ところが徐々に伸びていって、最終的に第1回から最後までずっと出演させていただくことができました。

— ご自身の出演シーンについてはいかがでしたか？ —

矢部 オンエアを拝見すると、まひろさん（吉高由里子さん）にカメラのピンポイントが合っていて、その後ろに控えている自分には見えていない。それは、お笑いタレント・漫画家・カラテカ 矢部 太郎さん



「光る君へ」では吉高由里子さん演じる「まひろ」（後の紫式部）の従者「乙丸」を演じて話題に。大河ドラマ「光る君へ」写真提供NHK

ただ、ドラマをこじった方に見ていただくものから、あまり描き込み過ぎないほうが余白で伝わるんじゃないかな。そういう思いもあって、なるべくシンプルに描きたいな、と思うことはありましたね。

— ドラマの放送に合わせてSNSで発表されていた「光る君へ」は、どのような思いで描かれたのですか？ —

矢部 あれば毎回のドラマの感想みたいなものを、自分なりに描かせていただいていたんです。



ちよつと  
おそばに...

シリーズ139

お笑いタレント・漫画家  
カラテカ 矢部 太郎さん

1977年6月生まれ、東京都東村山市出身。1997年、高校時代の友人である入江慎也さんとお笑いのコンビ「カラテカ」を結成。お笑いタレントとしての活動と並行し、ドラマや映画、舞台への出演など多方面で活躍している。

2017年、初めての漫画「大家さんと僕」を発表し、2018年に第22回手塚治虫文化賞短編賞を受賞。その後も「大家さん」と僕、これから「ぼくのお父さん」「プレゼント」「マンガ ぼけ日和」「プレセント」などで多数の漫画作品を発表している。

2024年には、NHK大河ドラマ「光る君へ」に主人公・まひろ（紫式部）の従者・乙丸として出演。同年12月、ドラマの放送時にSNSで発表した全48回分の「光る君へ」の撮影の舞台裏などを描いた新作漫画などを一冊にまとめた「矢部太郎の光る君へ」を発表した。

今回は矢部さんに大河ドラマの思い出や、好きなおそばなどについて伺いました。

NHK大河ドラマ  
「光る君へ」のこと